

会長挨拶

小林洋司（東京大学名誉教授）



国は林業の成長産業化の実現を図るとともに、森林の多面的機能発揮、山地防災力の強化を図るための森林整備事業及び治山事業の推進等の諸施策を講ずることとしています。

このような森林・林業政策の推進に当たって、森林整備・保全計画の策定、各種事業の調査・設計及び施工管理などの業務で、的確な森林技術と高い見識を有する技術者を擁する森林技術コンサルタントは、重要な役割を果たしていると考えています。

当会は、設立以来9年を経過し、技術者の専門技術力向上の支援、森林技術の開発・蓄積・普及啓発、森林技術コンサルタントの社会的役割の啓発等を通じて森林技術コンサルタントの健全な発展に資することを目的に活動を続けています。

具体的には、森林技術者の基礎研修会の開催、総合評価方式や低価格調査制度等への適切な運用を図るための情報収集、発注者側に対し森林技術業務に関する提言、要請活動を行ってきました。

一方で、治山事業については、近年変化している山地災害への対応など、林道については、林業専用道が定着し、次世代型の林業機械の開発も行われていることもあり、現場から技術的な課題が投げかけられています。また、森林資源調査、境界明確化、さらには、治山林道の調査設計等の分野で幅広い活用が期待されている森林調査の革新的な技術の実用化の要請もあります。

これらの諸課題に適切に対応するために、運営委員会の専門部会の活動を活性化し、また、公益社団法人森林保全・管理技術研究所と連携を強化し、これら諸課題の情報収集、調査研究、新たな技術の体系化、実用化を進めるとともに、その成果を関係機関等へ公表・提言したいと考えています。

今後とも森林技術コンサルタンツ協議会はこれら諸問題に会員の絶大なる支援のもとに取り組む所存であり、当会の活動に対し皆様方のご理解・ご協力を賜わりたくご挨拶申し上げます。（平成29年6月記）